



『幸の栖』

速報  
No.8



Commercial.Rice

JA福井県

生育は順調に今週も推移しています。今年はカメムシの発生が多い情報となっておりますので、基幹防除の徹底をよろしくお願いいたします。今週の生育調査にて走り穂が確認されました。週末にかけて出穂し来週末には、穂揃期を迎える見込みです。斑点米の防止のため、1回目の基幹防除をしっかりとこなしましょう。

### 1. JA 生育調査状況 (7月24日現在)

栽培区分	平均作業日	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉令	葉色	幼穂
移植	4月28日	104.2	424.7	-	4.5	走り穂

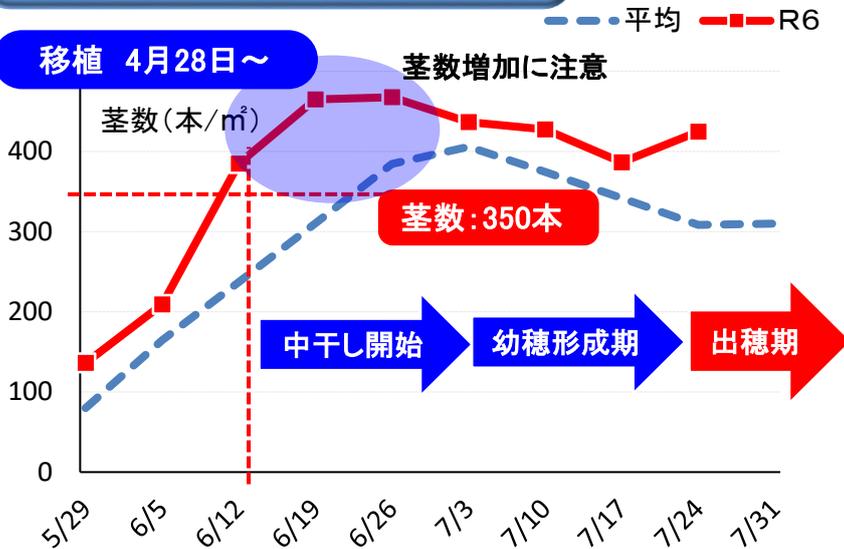
【平年比】

- 草丈 : 並み ● 茎数 : 多い
- 葉色 : 並み

【生育調査状況】

走り穂が確認されました。  
週末にかけては出穂を迎える見込みです。

### 2. 茎数の推移と今後の管理



### 3. ICS6号栽培管理のポイント!

【カメムシ防除】

斑点米カメムシ類の発生量は、平年より多く、前年よりやや多い予報

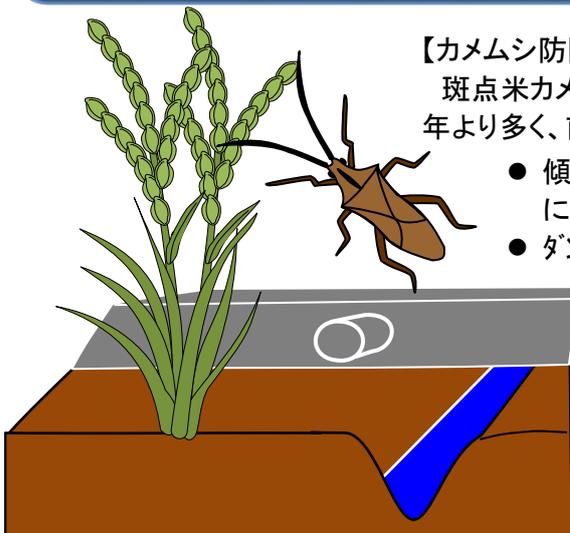
- 傾穂期(出穂後7～10日後)に実施
- ダントツ粉剤DL3～4kg/10a

【出穂後の水管理】

米粒を肥大させる水管理

稲穂は出穂(開花)から籾が肥大する登熟中期頃まで、大量の水を必要とします。

根を弱らせないために間断通水を登熟期まで続けましょう。



◆ 通水で下葉も青くイキイキ

間断通水(3～5日間隔)

- 田面に水(水位2～3cm)が行き渡ったら水を止める。(自然落水)
- 溝切りの底や田面の足跡の水が無くなるまえに灌水する。